

目玉のジャガイモ詰め放題が大好評 ACとうや収穫祭開く

農 業後継者のグループACとうや（田中健会長）会員17人が、昨年からはじめた「ACとうや収穫祭」が、9月21日、水の駅の前にある農商連携広場で開かれました。

今年も、1本50円のトウモロコシの他、100円から200円の格安の値段でキャベツ、人参、ゴボウ、ミニトマト、レタスなどが販売されました。

特に今年も200円でのジャガイモ詰め放題には、多くの方がチャレンジし、袋がいっぱいに詰め込んでいました。



じゃがいも詰め放題にチャレンジ！

先住民族供養祭 厳かに執り行う

9月14日、晴れわたった秋空の下で、洞爺湖町先住民族供養祭（主催北海道ウタリ協会 虻田支部・妻木征男支部長）が入江の歴史公園にあるアイヌ民族慰霊碑まえで、関係者約20人が参加して行われました。

当日は、同協会会員を始め、長崎良夫町長や教育関係者、郷土史研究会の皆さんが、読経の中、1人ひとり焼香して、先祖の霊を慰めました。

最後に妻木征男支部長が、「毎年いろんな方のご協力をいただき供養祭が開催できることをお



厳かに執り行われた先住民族供養祭

礼申しあげます。」と挨拶を行い、式を終了しました。

故白井信男さん 叙勲瑞寶雙光章受章する

故 白井信男さん（青1区）がこの度伊達市教育委員会の推薦によって、瑞寶雙光章を受章されました。

同章は、公共的な分野で功績を残した人に授与されるもので、白井さんの38年間の永きに渡る教師生活と保護司、遺族会長などの社会的な活動が高く評価されたものといえます。

夫人のせつ子さんは「大変名誉なことでありがたく思います。ただ主人が生きていれば喜びも違ったものになったと思います」とご主人の死を残念そうに話していました。



賞状を手にするせつ子夫人

ていました。

恒例の秋のクォーターマラソン 声援を背に児童ら力走

洞 爺湖町陸上競技協会が主催する、秋の恒例第13回洞爺湖町クォーターマラソン駅伝大会（皆川一男大会長）が、9月23日ふれ合いセンターをスタートに行われました。

大会は、小学生低学年が2チーム、同高学年が6チーム参加して、ふれ合いセンターでんでんちびつ子広場までの1往復を5人でリレーして競い合いました。

参加した児童らは、父母や仲間間の声援を背にしながら一生懸命走り、心地よい汗を流しました。



優勝したファイターズ村田
U-21 in 6年2組

た。

優勝は、低学年がスパーチーム、高学年がファイターズ村田U-21 in 6年2組。

。ま。ち。の。わ。だ。い。